

2018年3月卒者(大学・大学院卒) 「新卒者採用に関する進捗調査」 集計結果報告

公益財団法人就職支援財団が、県内企業の2018年3月卒業予定の新卒者(大学・大学院卒)採用活動の8月時点での状況について調査しました。

調査の趣旨

この調査は、静岡県内企業における新卒採用活動の現時点での進捗状況を収集し、企業・学校・学生へタイムリーに情報を展開することで、今年度の企業の採用活動、学生の就職活動への対応策提言の資料としていくものです。

調査要領

■調査対象

静岡県内企業の経営者もしくは人事担当者

従業員数: 49名以下36.3%、50～99名24.0%、100～299名22.0%、300名以上17.7%

業種: 製造業28.4%、建設業11.3%、卸売・小売業19.5%、サービス業33.8%、その他7.0%

■調査期間

2017年8月10日～2017年9月3日

■調査方法

2017年5月実施「新卒者採用に関する実態調査」(しずおか産学就職連絡会)の調査票送付先及び、新卒媒体やイベント等で新卒者を募集している企業から2,500社を抽出。調査依頼文を郵送し、WEBサイトにてアンケート回答

■有効回答数

559 サンプル (有効回答率 22.4%)

※集計は、調査対象のプロフィール以外、非該当・不明を除いて実施。また、小数点以下第2位を四捨五入して表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

<調査に関する問い合わせ先>

公益財団法人 就職支援財団

担当: 鈴木

TEL 054-271-3111

【総括】	3P
【調査結果】	
Ⅰ. 2018年3月卒者(大学・大学院卒)の採用活動実施状況	4P
Ⅱ. 採用活動終了企業の活動実績	5P
Ⅲ. 選考プロセスにおける状況の前年度比較	6P
Ⅳ. 今年度の採用活動の傾向と採用活動全体の印象	7P
Ⅴ. インターンシップの実施状況	9P
Ⅵ. 応募者増、採用充足見込企業の傾向	10P

<今年度採用活動の概況>

採用活動継続企業の割合は7割超。調査時点で採用計画人数の充足を見込んでいる企業は25%と厳しい状況。
～1Dayインターンシップ実施率の増加など、新たな対応が見られるものの、特に従業員規模の大きい企業、製造業の企業は前年よりも厳しい状況が伺える。

- ①採用活動を継続している企業の割合は前年と同程度で、採用意向のある企業のうち、7割の企業が現在も採用活動を継続している(図表1、2)。製造業については、昨年よりも活動継続割合が10ポイント増加している(図表4)。
- ②一方、採用計画人数を充足できそうだと見込んでいる企業は25%と厳しい状況が伺える(図表5)。特に厳しいのは「製造業」「建設業」の企業で、その割合が2割に満たない状況となっている。(図表6)
- ③採用活動を終了した企業の内、採用予定人数に達した企業は約5割。状況が厳しく採用を諦めてしまった企業の割合は16%で、終了理由の中で2位となっている。特に「従業員49人以下」の企業や「製造業」「建設業」は、その割合が高くなっている(図表8、9)。
- ④採用プロセス全般的に前年よりも厳しい状況が伺えるが、応募者数の減少については「従業員49人以下」と「300人以上」の企業(図表11)、内定辞退者数の増加については、「製造業」が他の属性よりも目立った数値となっている(図表14)。
- ⑤前年よりも採用活動状況が厳しくなっているとした企業は66%(図表18)。「従業員数100人以上」の企業や「製造業」の企業では、その割合が7割を超えている(図表19、20)。
- ⑥インターンシップ実施率は増加傾向にあり、全体の44%が実施している(図表24)。実施期間は「1日」(図表26)、対象学年は「大学3年生」が最も多く(図表29)、採用を意識する傾向が強まっている(図表28)。

<今後の採用活動について>

中長期的に学生との接点を増やすことが重要。

～まだ受入率の低い大学1、2年生を対象にしたインターンシップの実施を検討すべきではないか。

- ①採用プロセスにおいて、学生との最初の接点である「応募」の確保に最も苦戦している(図表21)。
- ②厳しい状況の中、前年よりも応募者数が増加している企業や、採用計画人数の充足を見込んでいる企業は、インターンシップの実施率が高い傾向にある(図表30、31)。
- ③インターンシップの受入対象学年は「大学3年生」が中心となっており、短大生や大学1、2年生の受入は2割程度に留まっている(図表29)

※総括及び調査結果のTOPICSのコメントにある“前年”とは、“前年同時期”の調査となります。

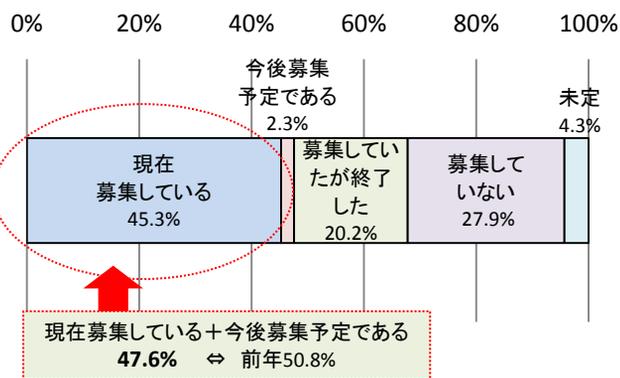
【調査結果】

I. 2018年3月卒者(大学・大学院卒)の採用活動実施状況

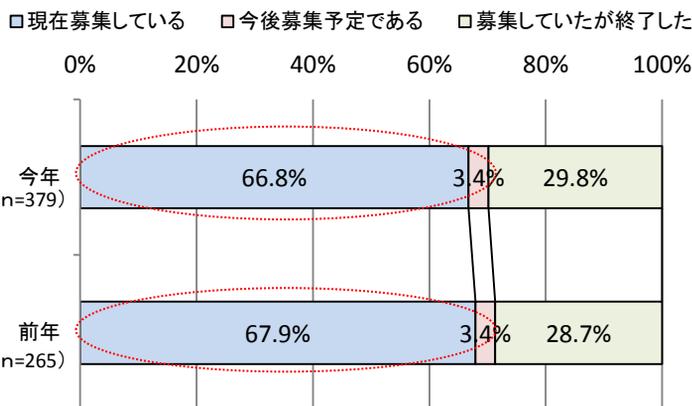
<TOPICS>

- 採用活動を継続している、あるいは募集予定のある企業は全体の48%と前年よりも2ポイント下回った(図表1)。採用意向のある企業に絞ると、7割強の企業が採用活動を継続している(図表2)。従業員規模別に見ると、規模が小さくなるにつれ継続率が高くなっている(図表3)。業種別では、建設業の活動継続率が8割で最も高くなっている。製造業は前年と比較して、継続率が10ポイント増加している(図表4)
- 今年度の採用計画を充足できそうな企業は全体の25%(図表5)。業種別に見ると、充足できそうな企業の割合が最も低いのは建設業で14%。製造業が17%と続いている(図表6)

(図表1) 2018年3月卒者の採用募集状況(n=559)

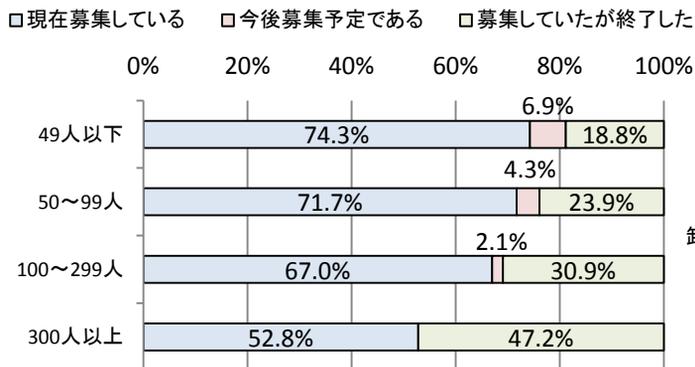


(図表2) 採用意向のある企業の活動継続率

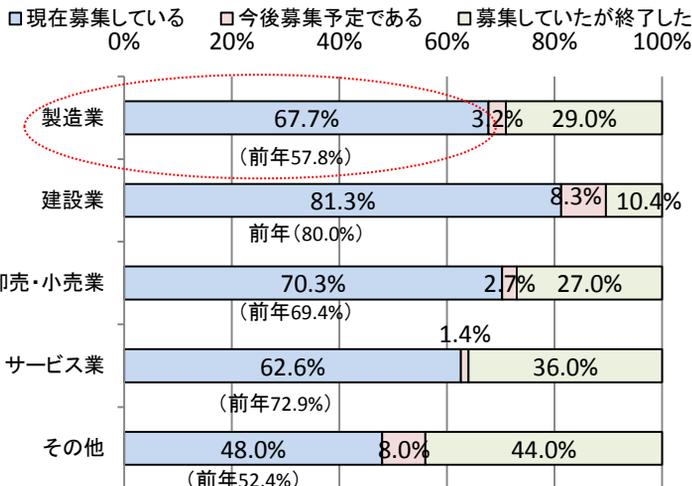


(図表3) 従業員規模別:

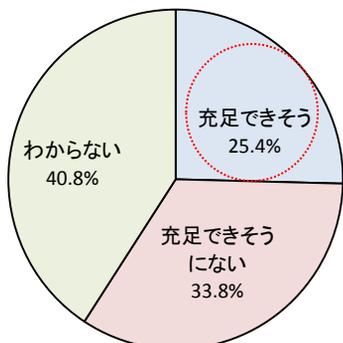
採用意向のある企業の活動継続率



(図表4) 業種別: 採用意向のある企業の活動継続率



(図表5) 今年度の採用計画充足見込(n=370)



(図表6) 業種別: 今年度の採用計画充足見込

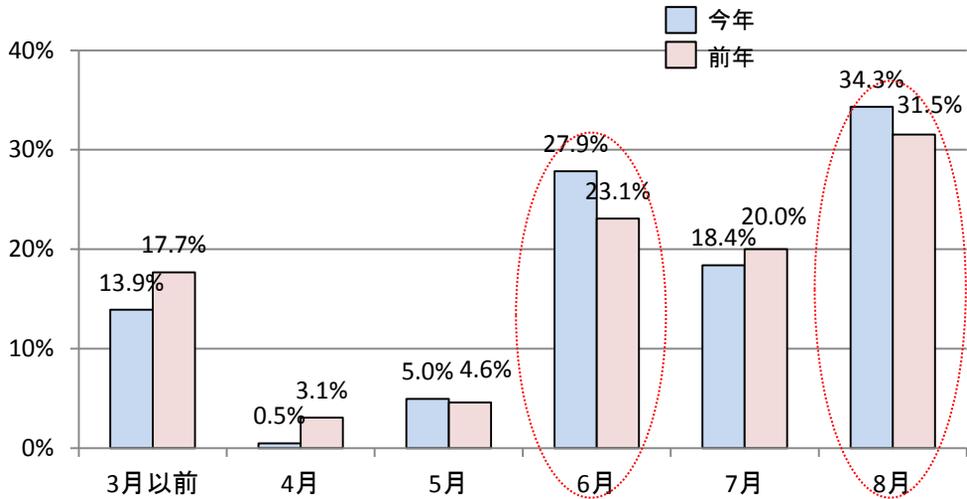
	充足できそう	充足できそうにない	わからない
製造業	17.4	33.7	48.9
建設業	14.0	54.0	32.0
卸売業・小売業	26.5	26.5	47.1
サービス業	28.7	33.1	38.2
その他	58.3	16.7	25.0

II. 採用活動終了企業の活動実績

<TOPICS>

- 採用活動の終了時期は「8月」が34%と最も多く、前年調査を3ポイント上回った。「6月」が28%と続いており、前年調査より5ポイント増加している(図表7)。
- 採用活動を終了した理由は、「採用予定人数に達したから」が52%と最も多い。「状況が厳しいので今年は諦めた」という企業の割合は16%と2番目に高い数値となっている。「状況が厳しいので今年は諦めた」企業を従業員規模別に見ると、49人以下の企業が最も高い割合で3割を超えている(図表8)。業種別で見ると、建設業が38%と最も高い割合となっている。2位は製造業で25%となっている(図表9)。

(図表7) 採用活動を終了した時期(今年n=201、前年n=130)



(図表8) 従業員規模別採用活動を終了した理由(n=204、複数回答)

	採用予定人数に達したから	状況が厳しいので今年度は諦めたから	未達だが概ね内定が出せたから	終了時期を決めていたから	採用計画を見直したから	その他
全体	52.0	16.2	13.7	9.3	6.4	12.7
49人以下	33.8	30.8	12.3	9.2	9.2	13.8
50~99人	46.3	9.8	17.1	4.9	4.9	26.8
100~299人	62.8	11.6	9.3	7.0	9.3	7.0
300人以上	69.1	7.3	16.4	14.5	1.8	5.5

(図表9) 業種別: 採用活動を終了した理由(n=204、複数回答)

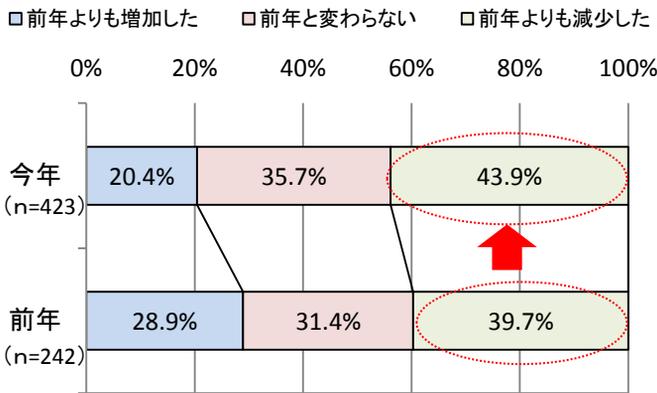
	採用予定人数に達したから	状況が厳しいので今年度は諦めたから	未達だが概ね内定が出せたから	終了時期を決めていたから	採用計画を見直したから	その他
全体	52.0	16.2	13.7	9.3	6.4	12.7
製造業	51.0	24.5	4.1	10.2	4.1	14.3
建設業	23.8	38.1	14.3	9.5	4.8	19.0
卸売業・小売業	41.9	9.3	18.6	4.7	14.0	16.3
サービス業	61.1	12.5	16.7	11.1	4.2	8.3
その他	73.7	0.0	15.8	10.5	5.3	10.5

Ⅲ. 選考プロセスにおける状況の前年度比較

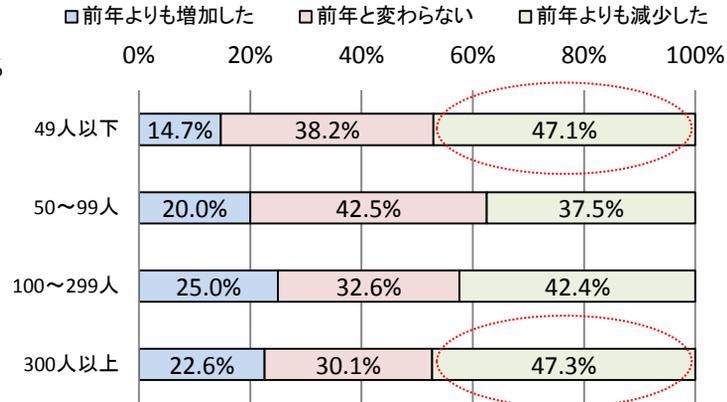
<TOPICS>

- ・応募者数は「前年よりも減少した」企業の割合が44%と最も高く、前年よりも4ポイント増加している。「前年よりも増加した企業」の割合は20%で、前年よりも9ポイント減少している(図表10)。従業員規模別では、「300人以上」の企業が「前年よりも減少した」割合が最も高く、「49人以下」の企業が続けている(図表11)。
- ・面接者数は「前年よりも減少した」企業の割合が44%と最も高くなっている。「前年よりも増加した」企業の割合は20%で、前年よりも10ポイント減少している(図表12)。
- ・内定辞退者数が「前年よりも増加した」企業の割合は、35%で前年よりも3ポイント増加している(図表13)。業種別では、製造業が「前年よりも増加した」割合が55%と最も高くなっている(図表14)

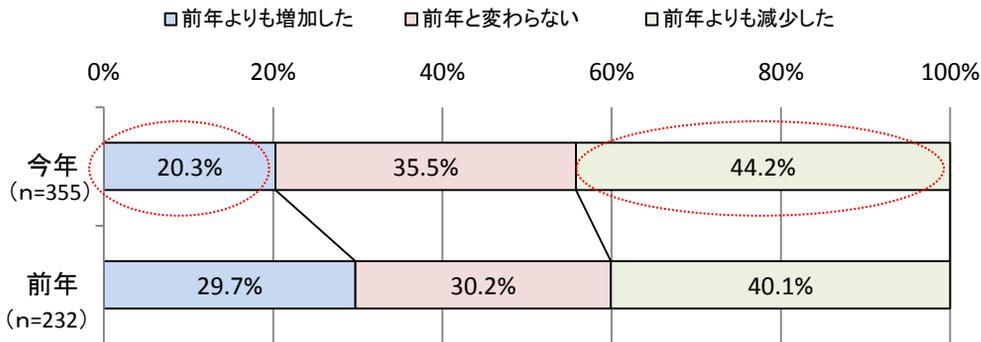
(図表10) 応募者数の前年度との比較



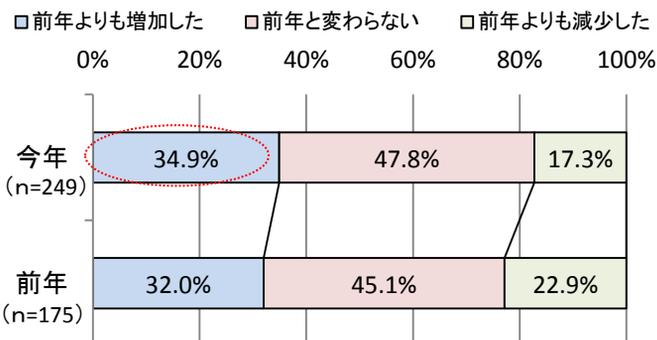
(図表11) 従業員規模別: 応募者数の前年度との比較



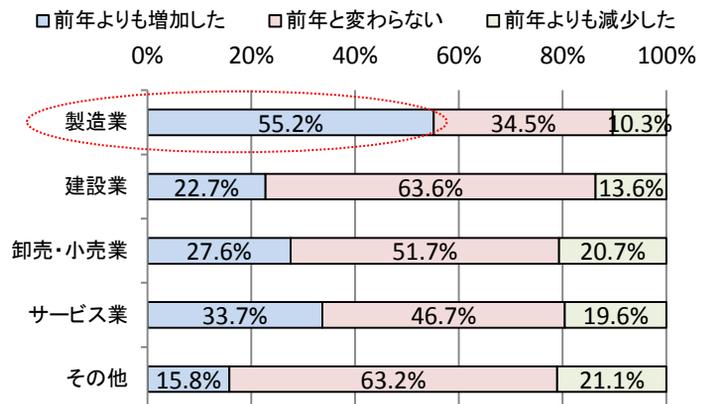
(図表12) 面接者数の前年度との比較



(図表13) 内定辞退者数の前年度との比較



(図表14) 業種別: 内定辞退者数の前年度との比較

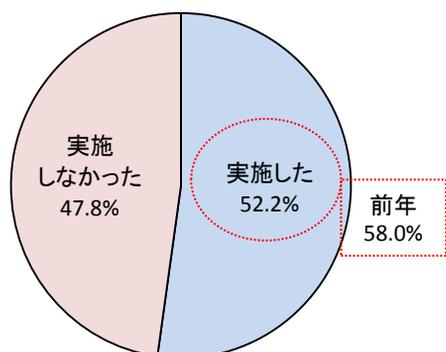


IV. 今年度の採用活動の傾向と採用活動全体の印象

<TOPICS>

- ・経団連が設定した選考開始月である6月よりも前に選考を実施した企業は52%となっている(図表15)。従業員規模別では、規模が大きくなるにつれて選考実施率が高くなっている(図表16)。
- ・最初に内々定を出した時期は、5月と6月が最も多くなっている。6月よりも前に内々定を出した企業の割合は55%となっている(図表17)。
- ・前年と比較した今年の採用活動の印象は、66%の企業が「厳しくなった」と回答した(図表18)。従業員規模別に見ると、「厳しくなった」と回答した企業の割合は、300人以上の企業が76%と最も高く、100～299人の企業が71%と続いている(図表19)。業種別では、「厳しくなった」と回答した企業の割合が最も高いのは製造業の72%となっている(図表20)。
- ・選考過程で最も厳しいと感じたものは「応募者数」の確保が55%と最も多く、前年よりも9ポイント上回っている(図表21)。従業員規模別では、規模が小さくなるにつれて「応募者数」の確保の割合が高くなっている(図表22)。業種別に見ると、「応募者数」の確保が最も高いのは建設業で、「内定辞退者数」の割合が最も高いのは製造業となっている(図表23)。

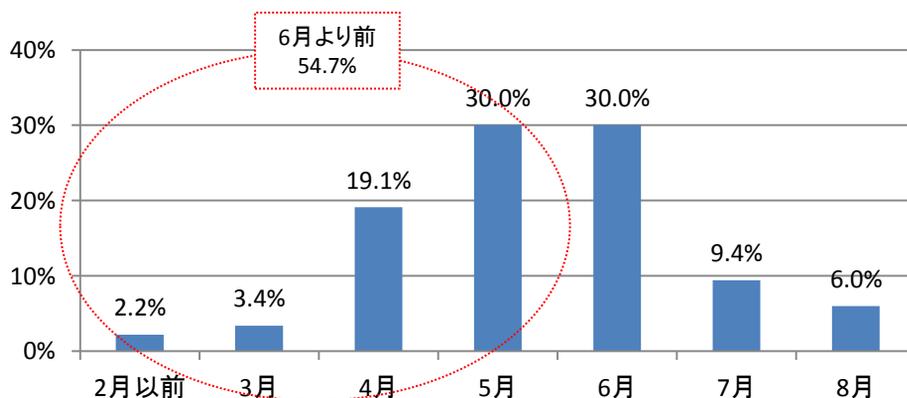
(図表15)6月より前の選考実施状況(n=406)



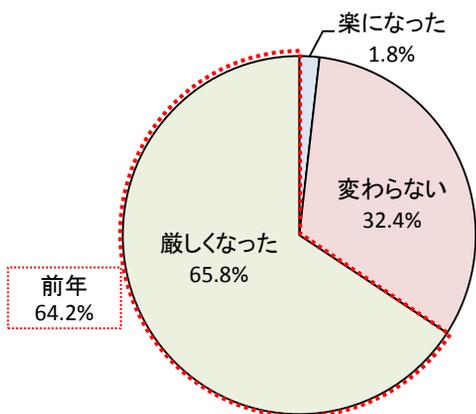
(図表16)従業員規模別:6月より前の選考実施状況

	実施した	実施しなかった
49人以下	35.3	64.7
50～99人	46.2	53.8
100～299人	55.9	44.1
300人以上	76.1	23.9

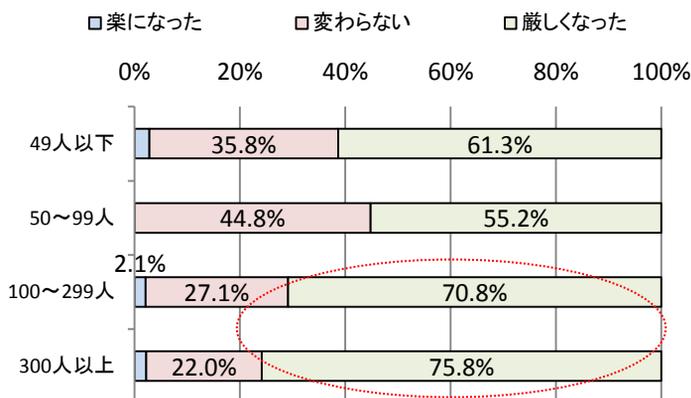
(図表17)最初に内々定を出した時期(n=267)



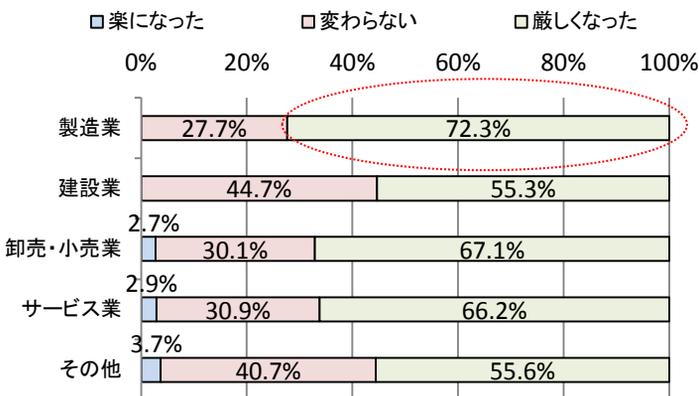
(図表18)前年と比較した採用活動の印象(n=380)



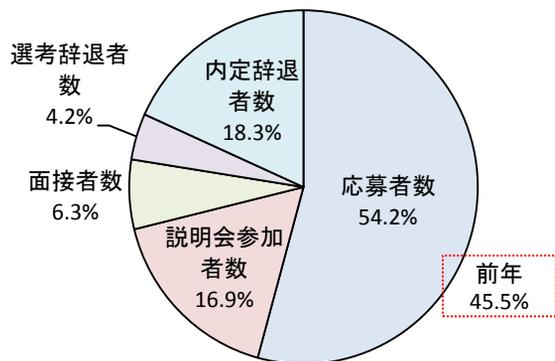
(図表19)従業員規模別:採用活動の印象



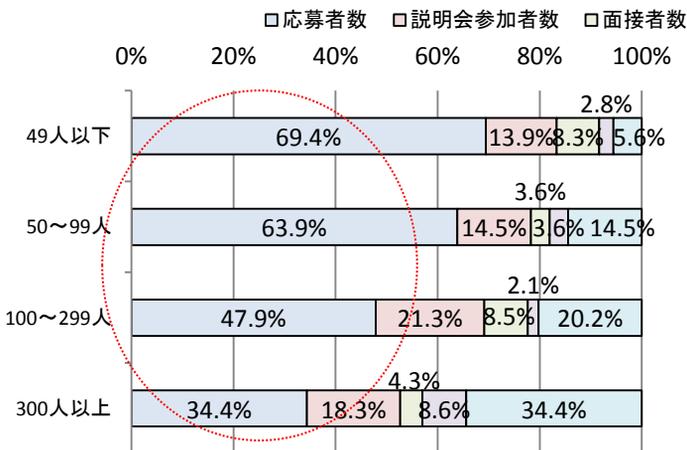
(図表20)業種別:採用活動の印象



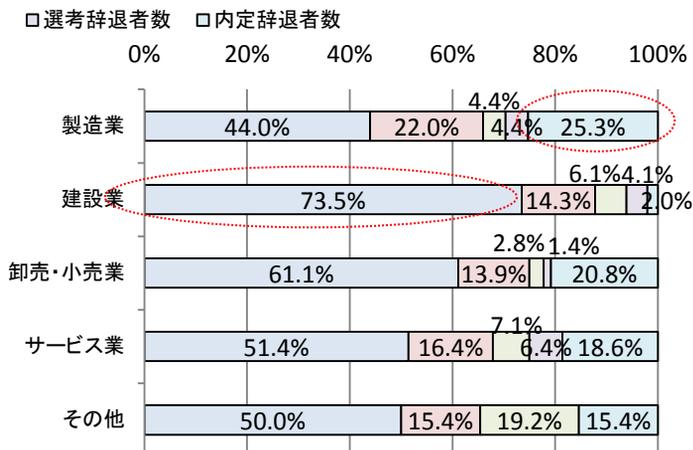
(図表21)選考過程で最も厳しいと感じたもの(n=378)



(図表22)従業員規模別:
選考過程で最も厳しいと感じたもの



(図表23)業種別:選考過程で最も厳しいと感じたもの

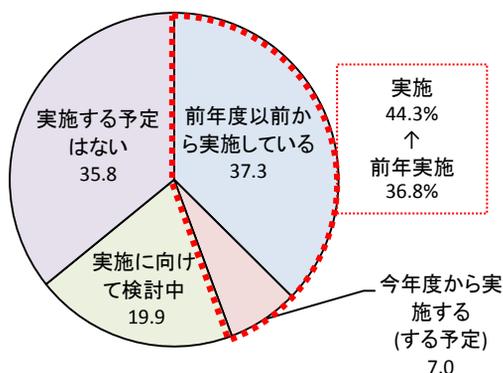


V. インターンシップの実施状況

<TOPICS>

- ・インターンシップを実施している企業の割合は44%で、前年を8ポイント上回っている(図表24)。従業員規模別に見ると、規模の大きさに比例して実施率が高くなっている(図表25)。
- ・実施期間は「1日」が5割弱と最も多く、前年よりも13ポイント増加している(図表26)。従業員規模別では、300人以上の企業が、実施期間「1日」の割合が約8割と最も高くなっている(図表27)。
- ・今年度実施する(予定含む)インターンシップにおいて、採用を意識している企業の割合は8割を超える。採用をかなり意識している企業の割合は28%で、前年よりも4ポイント増加している(図表28)。
- ・受入の対象学年は「大学3年生」が79%と最も多い。「大学1年生」は20%、「大学2年生」は27%となっている(図表29)。

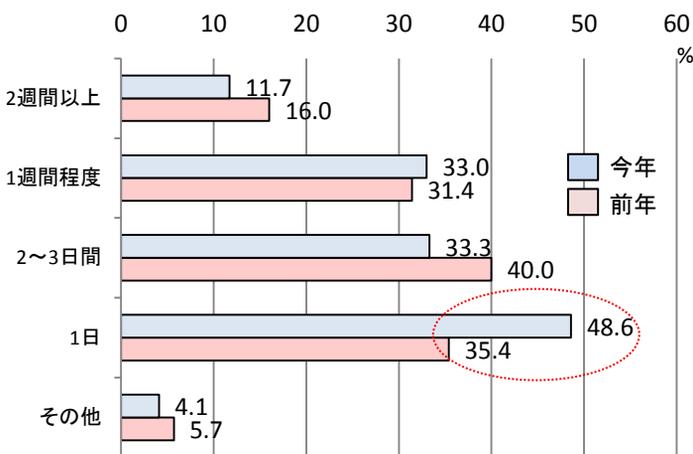
(図表24) インターンシップの実施状況 (n=517)



(図表25) 従業員規模別：インターンシップの実施状況

従業員規模	実施している(予定含む)	実施に向けて検討中	実施する予定もない
49人以下	31.7%	20.8%	47.5%
50~99人	37.8%	20.2%	42.0%
100~299人	53.4%	20.7%	25.9%
300人以上	64.6%	17.2%	18.2%

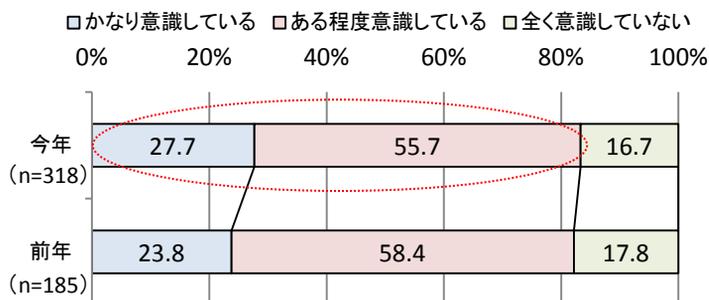
(図表26) 実施期間 (今年n=315、前年n=175、複数回答)



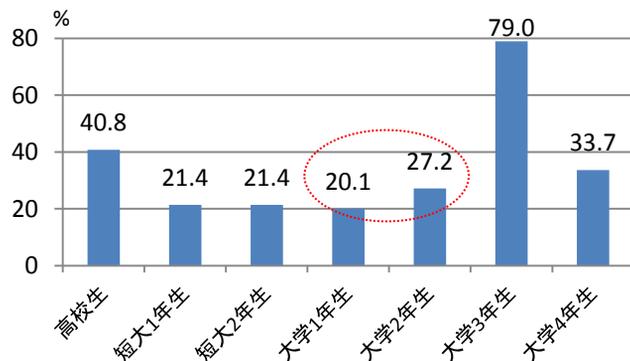
(図表27) 従業員規模別：実施期間

従業員規模	2週間以上	1週間程度	2~3日	1日	その他
49人以下	12.1	30.8	33.0	35.2	6.6
50~99人	12.5	34.4	37.5	34.4	4.7
100~299人	11.1	43.2	25.9	45.7	3.7
300人以上	11.4	24.1	38.0	78.5	1.3

(図表28) 採用をどの程度意識しているか



(図表29) 受入の対象学年 (n=309、複数回答)



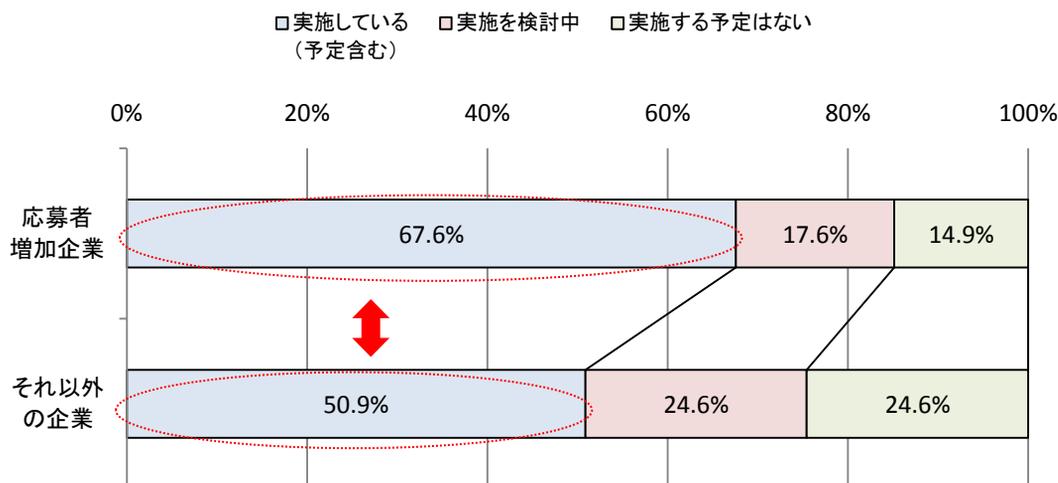
VI. 応募者増、採用充足見込企業の傾向

<TOPICS>

- ・「応募者数が前年よりも増加した企業」と「それ以外の企業」のインターンシップ実施率を比較すると、「応募者が増加した企業」の実施率が、「それ以外の企業」よりも17ポイント上回っている(図表30)。
- ・「採用計画人数を充足できそうな企業」と「充足が困難であると見通している企業」のインターンシップ実施率を比較すると、「採用計画人数を充足できそうな企業」の実施率が、「充足が困難であると見通している企業」よりも13ポイント上回っている(図表31)。

(図表30) 応募者増加企業とそれ以外の企業のインターンシップの実施状況 (n=363)

※今年度採用活動を実施した企業が対象



(図表31) 採用計画充足見込企業と充足困難な企業のインターンシップ実施状況 (n=267)

